



一般部門 消費・安全局長賞

人見 みみ子 (栃木県那須塩原市)

伝えたい。食と農、命の大切さと感謝の心（私にできることの一歩から）

酪農体験や体験館での牛乳を使った調理体験などを通じ、食と農、命の大切さと感謝の心を伝える活動を行っています。



農業の大切さや食への感謝を伝えるため活動をしてきました。総合学習や食育基本法の制定等により、食と農を考える時代となり、多くの方の応援をいただき、活動の輪が広がってきました。今回の受賞にあたり皆様に深く感謝いたします。

体験を通じて命の大切さ、感謝の心を伝える

1979年の生乳生産調整開始を契機に、自らの経営と地域の酪農を守りたいとの思いから、食と農、命の大切さや感謝の心を伝える活動を始めました。現在まで35年間継続して、小学生や都市住民を対象に、酪農体験や牛乳を使った調理体験などを実施しています。1999年に体験館をオープンし、年間5,000人（震災後は年間2,000人）を受け入れています。



牛糞たい肥を活用した野菜栽培体験

都市・地域との連携

別荘に来る方々に、化学肥料を使わない牛の餌づくりや美味しい牛乳を生産する工夫などを伝えるうちに、酪農への理解が得られました。近隣の宿泊施設と連携していることが、体験者の増加や地域活性化にもつながっています。体験に使用する食材は自分のところで収穫したもの、または近くの農家や直売所のものを使用しています。